

「知る、備える、行動する」 ～最近の広域大規模風水害に学ぶ～ 令和元年度 成果発表会

理事長 林 春男

令和2年2月13日（木）東京国際フォーラムにて、令和元年度成果発表会を開催いたしました。防災科研が独立行政法人に移行したのを機に始めた成果発表会も、今年度で15回目となりました。

当日は、関係省庁、民間企業、一般など1,000名を超える方々にご来場いただきました。また、内閣府平副大臣、今井大臣政務官、外務省尾身大臣政務官、西村衆議院議員、文部科学省山脇文部科学審議官、生川研究開発局長にご列席いただきました。

皆様のおかげをもちまして、盛況のうちに成果発表会を執り行うことができましたことを心よりお礼申し上げます。

今年度の成果発表会は「知る、備える、行動する」～最近の広域大規模風水害に学ぶ～をテーマに行いました。

第1部として「1年間の研究成果から『知る、備える、行動する』を考える」と題し、6名の研究者より、防災科研の取り組みを紹介いたしました。

第2部では研究者による146枚のポスター発表を行い、当日ご参加いただいた皆様から良いと思ったポスターに投票を頂きました。投票いただいた結果よりトップ10を決定し、防災科研ホームページへ掲載しました。今後、トップ10に選ばれた研究へは、研究ブランディング推進費の配分をし、研究を加速してまいります。

第3部では「避難～災害を乗り越えるための行動をどう促していくか～」と題し、池上彰氏を特別ゲストコメンテーターに迎え、災害時における避難の行動や、自治体の対応について活発な議論を交わしました。

私たち防災科研の使命は、国民の「知る、備える、行動する」を促すために、有益な情報をいち早く提供できるようにするために今後どうあるべきかを考えていくことにある、と考えています。

